

北海道日高高等学校 3学年通信 (文責: 高橋健一)

~第2章~

<最終号>

# 愛-Love☆日高!



残登校日

「0」

2021年3月1日  
No.39 (サンキュー)

皆さんとの「出会い(愛)」に、  
**THANK YOU!**  
日高高校での「3年間」は、  
皆さんの「土台」、そして「宝」。。  
卒業後、自分が選んだ道を信じ、  
日々・挑戦を重ねるべし!!

ついに、ついに、、ついに、、、「この日=卒業式」が来てしまいました…。本日3月1日(月)、先ほどの式をもって、皆さんは日高高校を「卒業」しました!! そして3年間、「毎週末+α」で発行してきた本学年通信も、この号をもって終了となります…(T\_T)。

「39号」にちなみ、「サンキュー号」と銘打ちましたが、3年間、皆さんの担任を預かってきた私の本心、それこそが「ありがとう」という気持ちに尽きるのです。3年前、初めて出会ったHRや宿泊研修キャンドルの集いで私の言葉を覚えていますか? 『私はこれまでの人生において、人との出会いで「はずれ」はほとんどない。』という、この一言を…。3年間過ごした皆さんとの出会いも、まさに「大当たり」だったと断言できます!! さらにもう一言、「これまでに数々の教師冥利に尽きる瞬間を味わってきた」という言葉も送りました。私たち教師にとって、「教え子の成長」こそが、「教師になって良かった」と心から思える瞬間。あなた方の日々の奮闘、そして成長。3年間、「教師冥利」を存分に満喫させて貰いました! 本当に全国数多ある高校から、日高高校を選んでくれてありがとう!!

今後は、卒業後の「更なる成長」を楽しみに待ちたいと思います。この日高高校で学んだことを生かすも殺すも、あなた方次第。これまでの「縁」を大切にしながら、卒業後も様々な方々との「縁」を大事に生かして、「真面目かつ誠実」に、人生を「楽しく」、「笑顔で」、「元気に」歩いていって欲しい。今はその気持ちでいっぱいです。

卒業、本当におめでとう! 日高高校を選んで良かったかい!?  
さあ、明日からまた「新たなはじまり」。Fight~~!!!

# あとは、「それぞれの道」を、 ただひたすら歩んでゆけ！

## ☆元志の志☆〈最終回拡大Ver.〉

◇まずは私信から。KOSUKEとは1年時に将棋指そうと言って結局できなくてスマン、いつか指そう！RYUYAは唯一就職だけど明るさと元気を前面に出して、協力して稼いでくれ！YUTAIは誰かを助ける前に自分を助けよう、過去はもういいから今と未来の自分を助けよう！SHUNGOは進学後だまされたり裏切られたりすることも増えると思うけどそれでもあきらめないで！SHUNICHIは新しい人との出会いを大切にして、貪欲に知識教養を吸収しよう！TSUBASAは少しずつ作業スピードを上げていこう、あとは根っからの明るさでやっていこう！KANAUは4年後の国試合格から逆算して物事を進めて行こう！REONは周りの状況にとりあえず乗っかって楽しむ色々！MANATOはベース続けてみては？大学生活を謳歌して！HARUOは、考えて行動する力が身についたなと感じる。これから更なる進化が何回もあるはずだ！◆さて最後に、皆さんに贈る言葉は特にありません。なぜなら、この場で今までさんざん言い尽くしてきたからです。なるべく簡潔に、いろんな言い回しを使って志の言葉を贈ってきましたし、それと高橋先生の「信・覚・愛」の言葉・文章があれば、今後皆さんを襲う困難や難題、悩み、つらさをすべて乗り越えることができます。ぜんぶ日高高校ホームページに残ってるからさ、いつでも見なさいよ。◆それでもなお足りないという君に、最後の志を贈ります。『百里を行く者は九十を半ばとする』。何をやるにも最後が肝心だから、約400kmの道のりを360km進んでやっと半分来たと考えた方がいい、という意味です。何事も終わるまでは注意深く物事を進めていかないと、終わる直前に大失敗することもあります。気をつけよう。では、またいつか会いましょう！

## 保護者の皆様へ

改めまして、このたびはお子さまのご卒業、本当におめでとうございます！「光陰矢の如し」とはよく言われますが、保護者の皆様方におかれましては、あっという間の3年間だったと感じる一方、実に「長〜い」3年間だったのではないかと拝察いたします。私ども教職員一同、お子さまの成長を日々願い、微力ながら誠いっぱい教育活動に努めてきたつもりではありますが、至らぬ点やご心配をおかけした点等の数々は、この「晴れの日」に免じてご容赦いただくと幸いです。

さて、高校卒業後は更に自立し、より一層「自分自身の足」で生きていくことが求められます。これから先に待ち受ける数々の試練や壁に対し、「日高魂」で乗り越えていって欲しいと願う一心です。今後のご活躍を信じ、そして祈り続けます！3年間、本当にありがとうございました。そして、3年間を通じての本学年通信のご「愛」読にも感謝申し上げます。本日筆を置かせていただきます。これからのお子さまの人生が、ますます明るく豊かなものとなりますよう、今後も精一杯のエール&テレパシーを送り続けます。「信」、「覚」、「愛」を胸に…。

## 今週の「愛」の格言〈最終回〉

『母親が最愛の一人子を命をかけて守るように、  
人は限りない愛をもって  
生きとし生けるものを愛し、  
育まねばならない。  
全世界に慈悲の光りをみなぎらせて。』  
by ブッダ (生没年不詳)について

Buddha (ブッダ)は、「目覚める」を意味するブドウを語根として、「目覚めた者」や「真理、本質、実相を悟った人」を意味し、「覚者」「智者」と訳す。基本的には仏教を開いた釈迦ただ一人を仏陀とする。釈迦の姓は、サンスクリット語ではガウタマで、名はシッダールタである。ガウタマ・シッダールタは、パリー語の発音からゴータマ・シッダッタとも表記される。35歳のシッダールタは、ガヤー地区のほとりを流れるナイランジャーナ川で沐浴したあと、村娘のスジャータから乳糜の布施を受け、体力を回復してピツパラ樹の下に坐して瞑想に入り、悟りに達して仏陀となった(成道)。

「輪廻転生」、「四諦」、「八正道」、「中道思想」等々、ブッダの数々の教えは、2500年余の時を隔て、現代社会に生きる我々にも強烈な光りと希望をを与えてくれるのである。

本学年通信最後の格言に、私が歴史上の人物で最も尊敬する「お釈迦様」の格言を紹介したいと思います。以前の Aristoteles さんのものに続き、皆さんへの最後のメッセージとして、私が送りたいと思うもの十葉を「お釈迦様」のお言葉をお借りして紹介します！！

- 一、「学ぶことの少ない人は牛のように老いる。  
彼の肉は増えるが彼の知恵は増えない。」
- 二、「今日すべきことは明日に延ばさず確かにしていくことこそ  
よい一日を生きる道である。」
- 三、「目的が達成されるまで、人は努めなければならぬ。  
自分の立てた目的がそのとおりに実現されるのを見よ。」
- 四、「過去は追ってはならない、未来は待ってはならない。  
ただ現在の一瞬だけを、強く生きねばならない。」
- 五、「他人の過失を見るなかれ。他人のしたこととしなかったことを見るな。  
ただ自分のしたこととしなかったことだけを見よ。」
- 六、「善をなすのを急ぎなさい。善をなすのにのろのろしていたら、  
心は悪を楽しむようになります。」
- 七、「” わたしは愚かである ” と認められる者こそ、賢者である。」
- 八、「先ず自分を正しくととのえ、ついで他人を教えよ。  
そうすれば懸命な人は、煩わされて悩むことがないであろう。」
- 九、「” その報いが、自分には来ないだろう ” と思い、  
善行を軽く見てはいけない。  
水一滴の滴りも、つもれば水瓶をあふれさせる。  
心ある人は、小さな善を積み重ねて、  
いつのまにか福德に満たされているのである。」
- 十、「最大の名誉は決して倒れない事ではない。  
倒れるたびに起き上がる事である。」

最後の最後…、愛するみんなへ、贈る言葉

(高橋健一座右の銘:今は無き前任校=旭川凌雲高校校訓)

# 克己

人生、「他人に勝つ」ことよりも、「自分自身に勝(克)つ」ことこそ重要。日々誠実に、自分自身と向き合い、己を磨き上げる努力を怠らないでください！

# 継続

どんなに優れた才能を持つ人物でも、「継続」なくして大成することはありません。「継続は力なり」~コツコツと努力を積み重ねることが何よりも重要であることを忘れずに!!

# 挑戦

これから先、困難・苦難は必ずや幾度も訪れます。その局面で重要なのが「逃げない」事。「楽」or「苦」の二択に迫られたら、敢えて「苦しい方」を選ぶ生き方を求めよ!!!

明るい未来へ向けてガンバレ！そして、さようなら！！